



平成三十年

林定期能

納会



日時

平成三十年十二月二日(日)
十二時半開演(十一時五十分開場)

場所

京都観世会館
京都市左京区岡崎円勝寺町四十四

能演目

葛景かづら かげ

城清きよ きよ

味方 河村
團 晴久

林定期能ホームページがリニューアルしました <http://hayashiteikinoh.com>

表紙写真 能《景清》撮影 金の星渡辺写真場

林定期能のご案内 INFORMATION

会場

京都観世会館

入場券

一般	前売	4,000円	
	当日	4,500円	
全館自由席	学生	前売	2,000円
		当日	2,500円

入場券取扱い

出演者 京都観世会館
林定期能楽会

E-mail hayashi_noh@yahoo.co.jp

※件名に「林定期能チケット申込み」、本文に氏名・ご来場公演日・チケットの券種と枚数を記載ください。

※メール申込み等、事前のご予約の場合、チケットは公演当日、受付にて代金と引き換えにてお渡しいたします。

お問合わせ先

林定期能楽会 TEL.075-751-8158 FAX.075-751-8167 京都市左京区浄土寺真如町24-22 <http://hayashiteikinoh.com>
京都観世会館 TEL.075-771-6114 FAX.075-761-6005 京都市左京区岡崎円勝寺町44 <http://www.kyoto-kanze.jp>

〔解説〕
本日の演目について
河村 晴道

景清

ツレ入丸 樹下 千慧
トモ(従者) 河村浩太郎
シテ(悪七兵衛景清) 河村 晴久

清 (能)

村山 弘

大鼓 谷口 正壽
小鼓 吉阪 一郎

(後見)

林 宗一郎
井上 裕久

(地謡)

河村 紀仁
田茂井 廣和
河村 和晃
河村 和貴

田茂井 廣道
河村 晴道
河村 和重
浦田 保親

休憩 十五分

〔仕舞〕

卷 絹キリ 河村 紀仁
松 虫キリ 河村 和貴

(地謡)

河村 和晃
田茂井 廣道
林 宗一郎
松野 浩行

〔狂言〕

悪坊 シテ(悪坊) 茂山 千作

アド(出家) 茂山 茂
アド(亭主) 丸石 やすし

(後見)

島田 洋海

〔仕舞〕

枕 慈童 浦田 保親
阿 原 井上 裕久
林 宗一郎

(地謡)

河村 紀仁
河村 晴久
河村 和重
河村 浩太郎

〔能〕

休憩 十五分

葛城

シテ(女、後に葛城の神)

味方 團

ワキ(山伏) 有松 遼一
ワキツレ(山伏) 岡 充

(所の者)

島田 洋海

(後見)

河村 和晃
河村 和重

(地謡)

國永 典子
樹下 千慧
河村 浩太郎
河村 和貴

松野 浩行
河村 晴道
林 宗一郎
田茂井 廣道

大鼓 河村 大
小鼓 林 吉兵衛

前川 光長
竹市 学

附 祝言
午後五時頃 終了予定

※時間はおよその目安を示しています。

主催 林定期能楽会

能景

清 あらすじ

「景清」とは平家の侍大将・悪七兵衛景清のことである。景清は『平家物語』屋島合戦「弓流」、「鏝引」で武名を馳せた剛健の武将。また、平家滅亡後は源頼朝の命を狙ったとも、盲法師となって平曲を語ったともいわれる。

平家滅亡後、景清は日向国で琵琶法師になっている。そこに景清の娘・人丸が、父の存命の噂を聞き、従者を伴って、はるばる鎌倉(神奈川県)から日向(宮崎県)まで旅して訪ねる。はじめは名のないで過ぐすが、里人のはからいで再会を果たす。景清のいまのニックネームは日向勾当ひひうがのこうとうという。景清は屋島合戦のさまを語って聞かせ、やがて娘と別れゆくのだった。

昔、琵琶を弾くことを職業とする盲目僧形の芸能者たちがいた。彼らを琵琶法師という。『平家物語』は彼らによって語られた。これが「平曲」である(景清が『平家物語』の成立に係っているという伝承もある)。能《景清》は、源平合戦後の、琵琶法師となった景清を描く物語である。「勾当」は室町時代にあった盲人の官職名であり、「日向勾当」の名はこれを用いたものだろうといわれる。

能葛城

城 あらすじ

葛城の神は昔、役行者から、葛城山と大峯との間に岩橋(いわはし)を架けるように言われた。しかし、女神である葛城の神は、醜い顔を恥じて、夜にか造らなかつたのでなかなか完成しなかつた。役行者はこれを咎め、葛城の神を葛葛(つたかつら)でいませめた、という伝説がある。いわゆる「岩橋説話」である。この説話に基づいて、能《葛城》は作られている。

葛城山で雪に困った山伏は、ある女に助けられる。「しもと」のことや「大和舞」のことを語り、火を焚いてくれる女は、実は葛城の神の仮の姿だった。(中人)夜更け、山伏の加持を受け、葛城の神は、月や雪に照らされて現れ、大和舞を奏でる。夜明けとともに姿はまた隠れてしまわれるのだった。



【交通アクセス】
●JR京都駅から
市バス5番、100番「京都芸術会館前」下車
地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」で地下鉄東西線乗換え「東山駅」下車
●阪急河原町駅から
市バス31番、46番、201番、203番「東山仁王門」下車
●京阪三条駅から
市バス5番「京都芸術会館前」下車
地下鉄東西線「東山駅」下車
●山科・醍醐方面から
地下鉄東西線「東山駅」下車
※駐車場は観世会館に有料駐車場(20台程度)がございます。又は岡崎公園駐車場等をご利用ください。

※場内での録音、撮影および時計、携帯電話等のアラームはご注意ください。

年間予告 平成31年 林定期能
初回 2月16日(土) 第3回 9月14日(土) 7月6日(土) 11時開演
(能)東北 河村 晴道 (能)橋弁慶 河村 和貴
(能)国栖 河村 和晃 (能)龍田 河村 浩太郎
十三世林喜右衛門三回忌 追善能
第2回 4月27日(土) 納会 12月8日(日)
(能)三輪 樹下 千慧 (能)忠度 松野 浩行
(能)善知鳥 林 宗一郎 (能)春日龍神 龍女之舞 田茂井 廣道
会場 京都観世会館 時間 12時半 開演(11時50分開場)
主催 林定期能楽会 http://hayashiteikinoh.com